

庄和地区公民館・庄和南公民館

◇運営の基本方針

地域住民の学習意欲を醸成するための学習機会を提供し、充実した人生を築くための生涯学習拠点となるよう環境を整える。また、庄和地区の連帯意識を高め、地域コミュニティづくりを進める。

◇重点施策

- 1 世代間交流と地域の連帯感を育む。
- 2 地域住民参画による自主的・自発的な事業活動を支援する。
- 3 各種団体、地域住民との協働による事業の展開を図る。

◇重点事業

- | | |
|------------|----------|
| 1 庄和地区市民大学 | 2 公民館まつり |
| 3 庄和地区体育祭 | 4 庄和南鑑賞会 |

庄和地区公民館

所在地 〒344-0116 春日部市大倉307番地1
庄和市民センター正風館内

(令和7年11月1日リノベーション工事が完了)

TEL 048-746-6666

FAX 048-746-6669

E-mail seifukan@city.kasukabe.lg.jp



庄和南公民館

所在地 〒344-0124 春日部市米崎357番地

TEL 048-745-3000

FAX 048-745-3002

E-mail s-nankou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長(兼務)	川辺孝	主査(兼務)	鈴木格
	主査(兼務)	根本護	主任(兼務)	吉田健作
	主任(兼務)	桜井厚	主任(兼務)	小林博人
	フルタイム(兼務)	山口智恵子	フルタイム(兼務)	山本靖裕
	フルタイム(兼務)	榊原小太郎	フルタイム(兼務)	高森愛子

事業名 テーマ	庄和地区市民大学	対象	一般	定員	23・24期 生 35名		
ねらい	地域住民に多種多様な内容の学習をする機会を提供し、地域に貢献できる人材育成を図るとともに、交友範囲を広げてもらい、より有意義な生活を送ってもらうことを目指す。						
協力機関 及び団体	庄和地区市民大学運営委員会 庄和地区市民大学学友会	特色 位置づけ	重点事業 地域で活動できる 人材づくり	SDGs の目標 No.	4・11・17		
会場	庄和市民センター正風館 会議室・講義室 ほか	教材 資料等	講師持参等				
実施までの経過	1月下旬～ 広報 2月22日～ 入学受付 5月9日 開講式 ～2月13日 講座(原則毎週金曜日)	PR方法	公民館だより2月号・広報かすかべ ポスター・募集要項・チラシ ホームページ・入学説明会				
		受付方法	学費を添えて正風館窓口へ申込み				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女		合計
			計	計			
5月9日(金)	12:30～17:00	開講式・オリエンテーション	説明	34	44	78	市民大学運営委員会
5月16日(金)	12:30～17:00	社会学科郷土史講座	講義	15	30	45	春日部市文化財保護課
5月23日(金)	12:30～17:00	教育科学教養講座	講義	33	43	76	文教大学人間科学部 青山准教授
5月30日(金)	12:30～17:00	教育学科人権教養講座	講義	17	30	47	春日部市社会教育課 梅津 裕介主査
6月6、7日(金・土)	9:00～17:00	林業体験講座(宿泊体験)	体験	9	19	28	大滝げんきプラザ
6月13日(金)	12:30～17:00	教育学科教養講座	紹介・見学	25	33	58	市民大学運営委員
6月20日(金)	12:30～16:30	産業学科造幣講座	説明	16	24	40	造幣局さいたま支局
6月27日(金)	12:30～17:00	芸術学科古典芸能鑑賞講座	鑑賞	16	24	40	国立能楽堂
7月4日(金)	12:30～17:00	教育学科ディベート講座 1	講義	15	26	41	文教大学人間科学部 青山 鉄兵 准教授
7月11日(金)	12:30～17:00	教育学科ディベート講座 2	講義	18	27	45	文教大学人間科学部 青山 鉄兵 准教授
7月18日(金)	12:30～17:00	教育学科ディベート講座 3	検討	15	31	46	市民大学運営委員会
7月25日(金)	12:30～17:00	教育学科ディベート講座 4	討論	38	56	94	文教大学人間科学部 青山 鉄兵 准教授
8月1日(金)	12:30～16:30	教育科学教養講座	講義	16	29	45	市民大学運営委員
9月5日(金)	12:30～16:30	教育学科教養講座	講義	43	62	105	東洋大学
9月12日(金)	12:30～16:30	芸術学科音楽鑑賞講座	鑑賞	14	21	35	すみだトリフォニーホール
9月26日(金)	12:30～17:00	健康学科スポーツ一般講座	体験	20	32	52	学友会・グラウンドゴルフ部
10月3日(金)	12:30～16:30	環境学科地球環境講座	講義	18	28	46	筑波大学生命科学環境系 山中 勤 教授
10月17日(金)	12:30～16:30	教育学科教養講座	講義	19	29	48	宇都宮大学
10月24日(金)	12:30～16:30	教育学科教養講座	講義	15	22	37	雪印メグミルク野田工場
10月31日(金)	12:30～17:00	生活学科不安解消講座	講義	19	29	48	共栄大学国際経営学部 宣 賢奎 教授
11月7日(金)	12:30～16:30	芸術学科美術鑑賞講座	鑑賞	19	27	46	日展・国立新美術館
11月14日(金)	12:30～17:00	教育学科教養講座	講義	19	27	46	宇都宮大学 山本美穂教授
11月21日(金)	12:30～16:30	生活学科ボランティア講座	体験	18	24	42	NPO法人庄和ふる里を守る会
11月28日(金)	12:30～16:30	科学学科化学講座	講義	18	27	45	産業総合研究所 生命工学領域 飯城氏 千歳 准典
12月5日(金)	8:00～16:30	健康学科料理・栄養学科	体験	22	26	48	船塚 實 氏・小谷中 三男 氏
12月12日(金)	12:30～16:30	生活学科防災講座	体験	40	45	85	春日部市危機管理防災課
12月19日(金)	12:30～16:30	教育学科教養講座	講義	16	24	40	文教大学中村准教授
1月9日(金)	12:30～16:30	教育学科教養講座	講義	15	21	36	市民大学運営委員
1月16日(金)	12:30～16:30	生活学科ボランティア講座	講義	18	30	48	宇都宮共和大学 陣内 雄次 教授
1月23日(金)	12:30～16:30	健康学科健康一般講座	講義	18	26	44	埼玉県立大学 久保田 章仁 准教授
1月30日(金)	12:30～17:00	教育学科教養講座	発表	40	50	90	市民大学運営委員会
2月13日(金)	12:30～17:00	教育学科教養講座	発表	45	55	100	文教大学人間科学部 青山 鉄兵 准教授
32回	152時間			703	1,021	1,724	
企画運営上の工夫	学生同士が積極的にコミュニケーションできるよう、ホームルームを実施した。 県の出前講座などを活用し、低コストによる事業運営を図りながら、大学教授を講師に起用し、幅広い知識の習得を目指すカリキュラムとした。						
成果 参加者の 声 など	感染症対策も不要となり、従来通りのコミュニケーションが活発な市民大学を開催することができた。参加者は「とてもやりがいを感じ、充実した内容であった」、「班ごとのコミュニケーションもできて良かった」など好評でした。						
課題と展望	次年度も運営委員の皆様と協力し、事業を円滑に運営していきたい。						

事業名 テーマ	2025 庄和地区公民館まつり		対 象	一般		定員	各部屋の 定員	
ね ら い	日頃、活動している団体・個人が、その活動の成果を広く地域の方々に鑑賞してもらい、生涯学習の推進と交流を図るとともに、活動成果の発表の機会、サークルと地域の方々との交流の機会、活動に新しく参加する人々を期待させる機会を来場する市民の方々に理解していただくことで、公民館活動の一層の発展を期す。							
協力機関 及び団体	庄和地区公民館まつり実行委員会		特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	4.11.17	
会 場	庄和市民センター正風館 全館		教 材 資料等	まつりプログラム 参加団体・個人の作品				
実施までの経過	令和7年 1月22日 4月1日～30日 6月20日 6月28日 9月11日 9月28日 11月19日～21日 12月5日 12月6日 12月7日 令和8年 1月22日	第1回実行委員会 参加団体募集 第2回実行委員会 第1回参加団体説明会 第3回実行委員会 第2回参加団体説明会 舞台団体リハーサル(場当たり) 前日準備 開催日(1日目) 開催日(2日目) 第4回実行委員会	PR方法	公民館だより(令和7年2月、4月、10月、令和8年2月号)等				
			受付方法	・令和7年4月1日～4月30日までに庄和地区公民館窓口において申し込みとした。 ・参加料2,000円は、6月28日の第1回参加団体説明会時にお預かりした。				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名氏 名		
回 数	総時間数			合計	累計			
12月6日(土) 12月7日(日)	9:30～16:00 9:30～16:00	公民館まつり1日目 公民館まつり2日目	鑑賞・観覧	1日目	900人	900人	実行委員会 委員	
				2日目	600人	1,500人		
2回	13時間							
企画運営上の工夫	・実行委員会委員を中心とした参加団体による自主運営とする。 ・参加団体募集では、庄和地区公民館利用団体・個人に積極的に声掛けをし、参加団体・個人を募集した。 ・風船を使用した装飾品(雪だるま等)で公民館正面玄関入口付近を飾り付けた。 ・庄和地区の小学校5校に声掛けをし、1階ロビーにおいて、児童たちの絵画展を実施した。 ・葛飾中学校、飯沼中学校吹奏楽部によるロビーコンサート(演奏会)を実施した。 ・公民館正面玄関入口付近には、各参加団体・個人任意作成によるポスターを掲示した。							
成果参加者の声など	49団体(舞台27団体、展示22団体)が参加した。昨年と比べ大幅に増加した。また、参加者からは、今年のはじめて実施した「スタンプラリーがとてもよかった。」、「色々な展示ブースがあり楽しめた。」、「ロビーコンサートは、とてもよかった。感動した。若い力は素晴らしい。来年は落ち着いた雰囲気の中(大ホール)で聴いてみたい。」等の感想が寄せられた。							
課題と展望	・公民館まつり開催マニュアルの周知・徹底を図る。 ・1階ロビーについて、庄和地区小学校(5校)による絵画展示、庄和地区中学校(2校)吹奏楽部によるロビーコンサート実施以外の活用を考える。(例:こども対象の遊び場設置等) ・今後も参加者、来場者の方々が楽しめる公民館まつりとする。							

事業名 テーマ	令和7年度春日部市民体育祭 庄和地区体育祭	対象	地区住民	定員	種目ごと	
ねらい	地域住民の交流・親睦を深めるとともに、体力向上による健康増進を図る。					
協力機関 及び団体	春日部市・庄和地区自治会連合会 春日部市コミュニティ推進協議会 庄和地区体育祭実行委員会	特色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No.	3・17	
会場	レジデンシャルパークSHOWA (庄和総合公園)多目的広場	教材 資料等	プログラム 各競技参加者に賞品			
実施までの経過	6月7日(土) 第1回実行委員会 7月17日(木) 第2回実行委員会 8月22日(金) 公民館だよりにて広報 8月22日(金) 区対抗種目説明会及び抽選会 〃 9月20日(土) 第3回実行委員会 〃 10月1日(水) 第4回実行委員会 10月11日(土) 競技役員全体説明会 10月12日(日) 公民館だよりにて広報 10月12日(日) 体育祭前日準備 10月12日(日) 体育祭当日 11月21日(金) 体育祭当日 11月21日(金) 第5回実行委員会	PR方法	ポスター・チラシ 公民館ブログ 公民館だより(8月号・10月号)			
	受付方法	区対抗種目及び団体対抗種目は、事前に各団体でとりまとめのうえ受付。 自由参加種目については、当日受付。				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	
10月12日(日)	9:00～15:00	9:00 開会式 9:30 競技開始 13:10 競技終了 13:10 じゃんけん抽選会 13:30 閉会式 13:30 片付け・開始 15:00 片付け・終了	競技	750	750	1,500
1回	6時間00分			1500	1500	
企画運営上の工夫	・準備体操を公民館利用の少女ダンスチームへ依頼し、盛り上がる事が出来た。 ・じゃんけん抽選会はこどもたちを中心に楽しめる事が出来た。 ・地域の人たちが集まり楽しむ事が出来た。 ・団体競技参加自治会について、1つの自治会では人数が少ないため参加出来なかった。しかし、「連合チーム」を作ることで参加出来るようになった。 ・学校関係者(小中学校の先生)の協力のおかげで、ストップウォッチの活用が出来た。 ・前日準備、片付けの流れを例年と変更したため、スムーズに実施する事が出来た。 そのため、自治会協力者の負担や不満を軽減する事が出来た(例年、自治会協力者の負担・不満は、準備や片付けの流れの滞りが主だったため)					
成果参加者の声など	・体育祭実施は、自治会連合会のみでは限界がきている。またそのことをスポーツ推進協議会に報告し人員の派遣等を依頼したいという意見があった。 ・じゃんけん抽選会は今後も継続して欲しいとの意見があった。しかし予算(50,000円)の問題があるため検討が必要。					
課題と展望	・昔のような体育祭ではなく時代に合わせたニーズの交流会のようなものをして欲しいという意見があった。 ・体育祭という考えに拘らず柔軟な発想が今後も必要となってくる。					

事業名 テーマ	井戸端サロン		対 象	おおむね50歳以上の方		定員	15名～20名程度	
ね ら い	定期的に開催し、高齢者の居場所づくり、仲間づくりを進める。							
協力機関 及び団体	井戸端サロンふれあい隊		特 色 位置づけ	高齢者コミュニティカフェ事業		SDGs の目標 No	3・4・17	
会 場	庄和市民センター正風館 多目的室 庄和総合支所 101、102会議室		教 材 資 料 等	講師持参				
実施までの経過	3月下旬	井戸端サロンふれあい隊 と打ち合わせ 順次実施 公民館だより掲載	PR方法	公民館だより掲載 ポスター掲示・チラシ配架				
	4月1日から 偶数月		受付方法	事前受付または当日受付				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
4月14日(月)	10:00～11:30	花見(庄和総合公園)	散策	1	14	15		
4月28日(月)	10:00～11:30	折り紙	懇談会	1	16	17		
5月12日(月)	10:00～11:30		懇談会	1	15	16		
5月26日(月)	10:00～11:30	文章作成公募	懇談会	1	16	17		
6月9日(月)	09:00～12:00	なぞなぞ	懇談会	1	14	15		
6月23日(月)	09:30～12:00	折り紙・熱中症防止	懇談会	0	17	17		
7月14日(月)	10:00～12:00		懇談会	1	15	16		
7月28日(月)		中止(健康診断会場のため)				0		
8月11日(月)		夏休み(お盆期間のため)				0	スポーツ推進課	
8月25日(月)	09:30～12:00	ボッチャ	懇談会	1	13	14		
9月8日(月)	09:30～12:00		懇談会	1	14	15		
9月22日(月)	09:30～12:00	なぞなぞ	懇談会	1	12	13		
10月13日(月)	09:30～12:00		懇談会	1	13	14		
10月27日(月)	09:30～12:00		懇談会	1	8	9		
11月10日(月)	09:30～12:00	お休み(引っ越し関係)	懇談会			0		
11月24日(月)	09:30～12:00	早口言葉、クイズ	懇談会	1	13	14		
12月8日(月)	09:30～12:00		懇談会	1	15	16	高齢者支援課	
12月22日(月)	09:30～12:00	クリスマスクイズ・折り紙	懇談会	1	17	18		
1月26日(月)	09:30～12:00		懇談会	1	14	15		
2月9日(月)	10:00～11:30	出前講座	懇談会	1	17	18		
2月23日(月)	10:00～11:30	クイズ	懇談会	1	18	19	健康課	
3月9日(月)	10:00～11:30	春日部マジッククラブ・コーギー玉すだれ	懇談会	3	18	21		
3月23日(月)	10:00～12:00	出前講座	懇談会	1	19	20		
19回	33時間00分			21	298	319		
企画運営上の工夫	・井戸端サロンふれあい隊と共に企画運営を実施した。 ・地域の高齢者に様々な学習機会の場を提供し参加者同士の交流を図った。 ・正風館工事完了のため、11月までは庄和総合支所、11月からは正風館で実施した。 ・参加者の要望からボッチャ・出前講座、クイズ等を実施した。							
成果 参加者の声など	・高齢者が興味関心のある講座を実施した。 ・年間通して事業を実施することができた。							
課題と展望	・今後もふれあい隊と協力しながら、事業を継続する。 ・新規の参加を促していく。							

庄和地区 5

事業名 テーマ	子育てサロン「親子のひろば」		対 象	0～5歳児と その保護者		定 員	内容ごと
ね ら い	すべての保護者が、安心して子育てや家庭教育を行えるよう学習機会や相談の場を提供する。						
協力機関 及び団体	春日部地区更生保護女性会庄和地区		特 色 位置づけ	家庭教育の充実		SDGs の目 標No	4.17
会 場	庄和市民センター正風館 和室等 庄和南公民館 和室等		教 材 資 料 等	講師持参 他			
実施まで の 経 過	随時 春日部地区更生保護女性会庄 和地区と打合せ 随時 講師と打ち合わせ 隔月 公民館だよりに掲載		PR方法	庄和地区公民館だより掲載 安心安全情報メール配信 SNS配信、チラシ配布			
			受付方法	電話または直接窓口で事前申込み			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
5月15日(木)	10:00～11:30	あそびにおいでよ	実技	1	3	4	庄和図書館スタッフ2名 山森 澄子
7月17日(木)	10:00～11:30	乳幼児救急救命講座	実技	4	13	17	消防本部警防課職員
9月18日(木)	10:00～11:30	いっしょに育つ子育てひろば	実技	2	4	6	ふじ学園スタッフ2名
11月19日(水)	10:00～11:30	読み聞かせ&わくわくリトミック	実技	8	15	23	庄和図書館スタッフ2名
		ちよっぴり早いクリスマス					栗岡 一矛・西村 範子
1月22日(水)	10:00～11:30	パパママゆるっとおしゃべり会	実技	2	4	6	ふじ学園スタッフ1名
3月19日(水)	10:00～11:30	親子でいちご狩りへ出かけよう	実技	4	11	15	
6回	9時間			21	50	71	
企画運営上 の 工 夫	・継続的参加を期待して奇数月に開催し、全6回の開催とした。 ・更生保護女性会に講座の企画運営、託児、広報の協力を依頼した。 ・地区内で活動している幼児教育に見識のある講師を招聘した。 ・参加型の内容とし参加者相互の交流を促した。						
成 果 参加者の 声 など	参加者からは、「みなさん優しく接して頂き、親子でホッと楽しませていただきありがとうございました。(5月15日講座)」「小児と乳児の一次救命を知ることができた。(7月17日講座)」、「普段気になっている育児の相談等ができてとてもうれしかったです。(9月18日講座)」、「サンタさんにあえたこと、楽しいリトミック、とても良かったです。(11月19日講座)」、「最近の悩みを話したり、鬼の面の制作をしたりできて良い時間を過ごせました。(1月22日講座)」「1人(親子では)なかなか行くことができないので、いちごがりととても楽しかったです。(3月19日講座)」などの感想をいただくことが出来た。						
課題と展望	各回の講座で高い満足度を得られている。昨年度の課題であった他課との連携(ふじ学園)も出来た。来年度以降は公民館利用者との連携以外にも、土日開催(平日は来にくいとの意見もあったため)などを実施していく予定である。						



事業名 テーマ	しょうわ塾 ①「初めての茶道」 ②「星空教室」		対象	①一般 ②一般(小学生までは保護者同伴)		定員	① 10人 ② 30人	
ねらい	生涯学習市民推進員との共催で実施する。地域における生涯学習の推進を図るために、地域住民に多様な学習機会を提供するとともに新たな事業内容や学習方法などを開発する。							
協力機関 及び団体	生涯学習市民推進員		特色 位置づけ	学習機会の充実 多様な学習機会の提供		SDG'Sの 目標No	3・4・11・ 17	
会場	①正風館 和室4 ②庄和南公民館		教材 資料等	①レジュメ ②レジュメ・天体望遠鏡				
実施までの経過	①7月上旬 10月1日 ②9月上旬 12月1日	①打ち合わせ 公民館だより発行 ②打ち合わせ 公民館だより発行	PR方法	①公民館だより10月号 ②公民館だより12月号				
			受付方法	①10/27～電話または窓口で受付 ②12/2～電話または窓口で受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法				講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
11月23日(日)	10:00～12:00	初心者を対象とした茶道教室	講義 体験	2	7	9	上野 京子	
12月13日(土)	17:30～19:00	天体や12月の星座に関する講座	講義	13	15	28	春日部市文化会館 長谷川 清一 元内牧小学校校長 島村 克己	
2回	3時間30分			15	22	37		
企画運営上の工夫	・生涯学習市民推進員と共に企画運営を行う ・庄和地区の講師を依頼する ①ひとりひとりがお茶を点てられるように少人数にした。 ②講話の中で、星空観察の仕方の解説などを細かく行った。							
成果 参加者の声など	①初心者を中心に、「とても楽しかった」「初めての茶道で大変貴重な体験でした」「また機会があったらお願いします」など満足いただけた感想であった。 ②当日は曇り空で星が見えず、ふたご座流星群のピーク日に日程を合わせたが見ることが出来なかった。残念という声が大半を占めたが、室内観測として、講座の中で12月の星空について話を聴き良い機会となった。							
課題と展望	①今後も生涯学習市民推進員と協力しながら、学習機会を提供していきたい。お茶に関する関心度も非常に高く来年度も継続していきたい。 ②今年度は曇り空で星を観測することは出来なかったが、天体望遠鏡を実際にのぞくことが出来たのが唯一の収穫だった。天気で左右される講座だが、星が見えないときにどうするかが、来年の課題である。							

庄和地区 7

事業名 テーマ	教養講座 ①「神明貝塚 地元を学ぼう！」 ②「大正琴 癒やしの音色 春一番コンサート」		対 象	一般		定 員	①30名 ②50名
ね ら い	地域住民に生涯学習に対して興味をもつ機会を提供し交流・親睦の促進を図る。						
協力機関 及び団体	①春日部市郷土資料館 ②サークル団体「しょうぶの会」		特 色 位置づけ	成人の学習機会 の充実		SDGs の目 標No	4・11
会 場	大夙文化交流センター ハルカイト		教 材 資料等	講師持参			
実施まで の 経 過	3ヶ月前 2ヶ月前 月初め ①8月4日～ ②当日受付	講師団体と打ち合わせ 講師依頼 公民館だより掲載 講座受付開始	P R 方法	公民館だより ポスター、チラシ 市公式SNS			
			受付方法	①事前申込 ②当日受付			
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
8月27日（水）	10:00～11:30	講義・展示の説明	体験	12	14	26	郷土資料館学芸員 中野達也
2月27日（金）	14:00～15:30	大正琴アンサンブル演奏	演奏	12	24	36	人見さとみ （木村流大正琴師範） しょうぶの会
							
2回	3時間			24	38	62	
企画運営上 の 工 夫	・庄和北部地域の住民の利便性を図るため、北部地域の施設（ハルカイト）を借用した。 ・地域の自治会を通して回覧依頼をし、ハルカイトに足を運ぶきっかけを作った。						
成 果 参加者の 声など	・学習意欲のある参加者が多く集まり、熱心に耳を傾け、ほとんどの参加者が満足という結果だった。①丁寧な説明と分かりやすい内容で神明貝塚についてますます興味を持つことが出来た・②「きれいな音色に癒やされた」「大正琴を知ることができた」など多数の声をいただいた。						
課題と展望	おもに庄和北部地域の市民へ向けた事業とすることが出来た。来年もハルカイトに出向いて業を進めたい。またいろいろなジャンルを取り入れて幅広い年齢層に参加できる事業を提供したい。						

事業名 テーマ	健康講座「やさしい漢字のおもしろ発見 ～楽しく学んで健康維持～」		対 象	一般		定 員	30名
ね ら い	身近な漢字をモチーフに楽しく学ぶことにより、心身の健康向上を図り住民の教養を高める。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	成人の学習機 会の充実	SDG'Sの 目標No.	1・4・5	
会 場	庄和市民センター正風館 会議室1・2・3		教 材 資 料 等	講師作成資料			
実施まで の 経 過	5月 6月 12月 12月19日～	講師依頼 打ち合わせ 公民館だより12月号掲載 受付開始	PR方法	公民館だより12月号 ポスター、チラシ配架			
			受付方法	12月19日(金)から電話または直接 窓口で事前申込み			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月17日(土)	10:00～11:30	やさしい漢字を使って漢 字の成り立ち・クイズなど 	講義	10	16	26	武藤 修 (漢字教育サポーター) 
1回	1時間30分			10	16	26	
企画運営上 の 工 夫	・健康講座の観点から、脳を活性化する内容とし頭の健康講座を企画した。 ・やさしいわかりやすい漢字を使って学習意欲を促す。 ・高齢者でも無理なく参加できるようPRする。 ・四字熟語やことわざなど再度学び直したい内容を取り入れ、楽しく学べる工夫をする。						
成 果 参加者の 声 など	・漢字の面白さを知ることが出来た。 ・難しかったけど頭の体操になった。 ・知らない字があり参考になった。 ・クイズなど参加型で楽しく出来た。 ・脳トレになった。						
課題と展望	漢字テスト、クイズ方式などを取り入れて、教室で授業を受けているような懐かしい体験が出来たことで、おおいに盛り上がり、かなりの脳トレにつながったと思う。次回の開催に向けて、漢字の成り立ちや書き順など要望の多かった内容を取り入れて楽しく学べる機会を増やしていきたい。						

庄和地区 9

事業名 テーマ	利用者のつどい		対 象	公民館利用者		定員	なし
ね ら い	公民館の役割や機能を理解してもらい、円滑な公民館の利用方法を浸透させるとともに利用者同士の交流を図る。						
協力機関 及び団体	なし		特 色 位置づけ	市民の声を生かす仕組みづくり			
会 場	庄和市民センター正風館 2階会議室(1)(2)(3)		教 材 資 料 等	公民館利用のてびき(庄和地区)等			
実施までの経過	12月12日(金) ポスター掲示、利用者団体へチラシ配布 12月12日(金) 参加団体募集開始 ～ 2月6日(金) 前日準備 2月7日(土) 当日		PR方法	・公民館だより12月号 掲載 ・ポスター掲示 ・利用団体へチラシを配布			
			受付方法	12月12日(金)から令和8年2月6日(金)までに窓口または電話で受付			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
2月7日(土)	10:00～11:00	公民館の利用について 公民館利用団体票について 公民館へのご意見・ご要望について 意見交換	説明 説明 説明 意見交換				公民館職員 公民館職員 公民館職員 公民館職員・参加者
1回	1時間			18	35	53	
企画運営上の工夫	・公民館利用団体に利用方法等の再確認をお願いする。 ・公民館だより12月号への掲載、ポスターへの掲示、利用団体へのチラシ配布等を行う。 ・人権教育研修会を同時に開催する。						
成果参加者の声など	・計53名が参加した。 ・施設(部屋)の利用方法等を再確認するよい機会となった。						
課題と展望	・利用者と公民館側による協議の場を、今後も継続的に設けていきたい。 ・公民館の利用促進に向けた取り組みを継続していく。						

事業名 テーマ	人権教育研修会		対 象	公民館利用者		定員	なし
ね ら い	人権問題について学び、正しい理解と認識を深める。						
協力機関 及び団体	なし		特 色 位置づ け	学習課題に対応した事業の展開 (人権)			
会 場	庄和市民センター正風館 2階会議室(1)(2)(3)		教 材 資 料 等	人権啓発DVD 「みんな笑顔になる日まで」			
実施ま での経 過	12月12日(金) ポスター掲示、利用者団体 へチラシ配布 12月12日(金) 参加団体募集開始 ～ 2月6日(金) 前日準備(DVD借用等) 2月7日(土) 当日		PR方法	・公民館だより12月号 掲載 ・ポスター掲示 ・利用団体へチラシを配布			
			受付方法	12月12日(金)から令和8年2月6日 (金)までに窓口または電話で受付			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
2月7日(土)	11:00～11:30	人権について研修 DVD「みんな笑顔になる日まで」	鑑賞				
1回	30分			18	35	53	
企画運営上 の工夫	・人権啓発DVDを上映し、人権についての理解を深める。 ・公民館だより12月号への掲載、ポスターへの掲示、利用団体へのチラシ配布等を行う。 ・参加者には、人権啓発品を配布する。 ・公民館利用者のつどいを同時に開催する。						
成 果 参加者の 声 など	・計53名が参加した。 ・人権DVDの視聴を通して、人権への理解が深まったのがよかった。						
課題と展望	・今後も人権に関する研修映像資料DVDを用いて正しい知識を習得し、人権意識のさらなる向上と啓発活動に努めていく。						

庄和地区 11

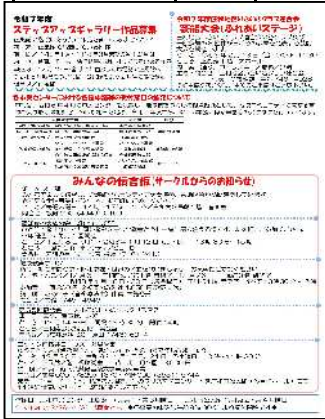
事業名 テーマ	子どもの遊び場・遊びにおいてよ！ 「マジックをおぼえて君もヒーローになろう！」		対象	小学生		定員	20名	
ねらい	「子どもの遊び場」を地域の小学生に、より一層周知するきっかけ作りとして、さまざまな体験をする場を提供する。また、地域の異年代とのコミュニケーションの機会を設ける。							
協力機関 及び団体	庄和マジッククラブ		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	1・4	
会場	正風館 2F会議室1・2		教材 資料等	用具は講師が用意				
実施までの経過	11月21日 打合せ・依頼 2月 1日 公民館だより2月号掲載 2月初旬 ポスター・ちらし配架 2月14日 受付開始		PR方法	公民館だより2月号掲載 安心安全情報メール・SNS配信				
			受付方法	2/14より電話または窓口で受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
3月7日(土)	10:00～11:30	マジックの実演・指導	実技	20	15	35	ダーク浜 庄和マジッククラブ	
								
3回	1時間30分			20	15	35		
企画運営上の工夫	・子どもたちが、興味を示し楽しく参加できる内容とした。 ・集まった子どもたちが簡単なマジックを習得できる内容とした。 ・子どもたちの居場所づくりの場所としてふさわしいプログラムにした。 ・ボランティアスタッフは庄和マジッククラブのみなさんに依頼した。							
成果 参加者の声など	・普段、体験できないような遊びが出来て楽しかった。 ・知らないおともだちと話すことが出来た。 ・ちょっとしたコツで、マジックを楽しむことが出来た。 ・ボランティアスタッフの豊富なマジックとアイデアで参加者は飽きることなく楽しむことが出来た。							
課題と展望	「子どもの遊び場」を認識してもらい良いきっかけ作りになったと思われる。今回は土曜開催ということで多くの子どもたちで賑わったので、今後も土日などを効果的に計画するのも、「子どもの遊び場」の周知につながるのではないかなと思われる。							

事業名 テーマ	ステップアップギャラリー		対 象	一般		定 員	30点
ね ら い	階段ギャラリーを活用し、公民館利用団体の学習成果を発表する場を提供する。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	学習成果の発表		SDG s の目 標No.	4. 11
会 場	庄和市民センター正風館階段		教 材 資料等				
実施まで の 経 過	R7年4月 正風館リノベーション工 ～R710月 事のため中止		P R 方法	庄和地区公民館だより掲載			
	R7年12月～ R8年3月の偶 公民館だより掲載 数月		受付方法	窓口			
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
11月	1 か月間						
12月	1か月間						
1月	1か月間						
2月	1か月間						
3月	1か月間						
0回	6か月			0			
企画運営上 の 工 夫	公民館だよりやポスター・チラシにて展示希望団体を募集する。 窓口などで積極的に呼びかけを行う。						
成 果 参加者の 声 など							
課題と展望	令和7年度は正風館リノベーション工事のため、令和7年10月まで募集を中止していた。令和7年11月から令和8年3月まで募集をしたが、応募が無かった。ただし、令和8年度は募集があるため、前年度のように事業を実施していく。						

事業名 テーマ	教養講座（庄和南）		対 象	事業ごとに設定		定員	事業ごとに設定	
ね ら い	地域住民の声や社会情勢を鑑みて、地域住民の学習ニーズに対応したテーマを、年代に合わせて実施する。							
協力機関 及び団体	①NPO法人パドルジャークス体操協会 ②ソフトバンク株式会社 ③宝手打そば同好会		特色 位置づけ	民間事業者と連 携した事業を含 む		SD Gs の目 標N	4・11	
会 場	①：多目的ホール ②：学習室1・2 ③：調理室		教 材 資料等	①パドル（講師持参） ②スマートフォンレジメ ③講師作成テキスト				
実施まで の 経 過	2月 3月 8月	①講師依頼・打合せ ②講師依頼・打合せ ③講師依頼・打合せ	P R 方法	公民館だよりに募集記事掲載 ポスター・チラシ				
			受付方法	各事業ごとに、先着順に、窓口 または電話で受け付け				
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
5月8日（木） 5月15日（木）	10：00～12：00	パドル体操	体験	0 0	5 2	5 2	NPO法人パドルジャークス 体操協会 及川 優子氏	
6月24日（火）	14:00～16：00	はじめてのスマート フォン♪	体験	5	8	13	ソフトバンク株式会社 スマホセミナー担当 坂本直也氏、石塚由美氏	
11月8日（土）	9:00～12：30	手打ちそば講習会	体験	4	6	10	小谷中 三男氏 船塚 實氏	
								
4回	9時間30分			9	21	30		
企画運営上 の 工 夫	①高齢者でも無理なく気軽に参加できることを説明した。 ②民間事業者と連携、ごく初歩的な操作方法などゆっくりとした速度で全員が体験した。 ③そば打ちに必要なゆで窯や道具が揃っている当館の特色を活かした事業として企画した。							
成 果 参加者の 声 など	①「楽しくできて良かった」「楽しい講師の方でとても楽しかった」「普段、使わない箇所を動かしてよかった」などの声をいただいた。 ②地図アプリの拡大、縮小などの自然かつ直感的な動きや、質問に対するAIの回答に驚嘆の声があがった。 ③参加者に対するアドバイスや支援が行き届き「先生方の指導がとてもよかった」「おいしいおそばに感動した」という感想が寄せられた。							
課題と展望	①募集方法やタイミングなど根本的な見直しが必要と思われる。 ②講師の所属先が開催しているスマホ教室などのPRがやや長かったように思えた。 ③当館には、そば打ちに必要な設備や道具が揃っているので、それらを活用した事業として、今後も検討したい。							

事業名 テーマ	庄和南音楽鑑賞会 「ルパ・デ・トーンによる さわやかフルートコンサート」		対 象	一般		定 員	100名 先着順
ね ら い	質の高い芸術作品に触れる機会を提供する。春日部ゆかりの演奏家を招いての演奏会とし地元での活動推進、郷土意識の向上をはかる。						
協力機関 及び団体	ルパ・デ・トーン		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11
会 場	庄和南公民館 多目的ホール		教 材 資料等				
実施までの 経 過	2月上旬 4月1日 5月中旬	出演依頼 公民館だより4月号掲載 内容打ち合わせ ポスター掲示 安心安全情報メール 公民館だより6月号掲載 当日午前リハーサル 午後開催	P R 方法	ポスター・チラシ、公民館ブログ、メール、 公民館だより4・6月号に掲載			
	6月1日 6月15日 6月21日		受付方法	事前申し込み不要 当日、先着順に受付			
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 女 計 計	合計		
6月21日（土）	14:00～15:30	フルート二重奏	鑑賞	15	80	95	演奏者 鈴木 康恵氏 濱吉 麻里子氏
							
							
1 回	1時間30分			15	80	95	
企画運営上の工夫	・春日部市出身のフルート奏者鈴木康恵さんが率いる音楽グループRepas des tons（ルパ・デ・トーン）に幅広いジャンルの演奏を依頼した。 ・当日自由入場（鑑賞 無料）にすることで、地元住民の方に気軽に音楽に親しんでいただけた。 ・PR方法を市内近隣住民に限定し、ほぼ定員の人数に抑えることができた。 ・プロの演奏者による質の高い芸術鑑賞に触れる機会を提供できた。						
成 果 参加者の声など	クラシック、ポップス、童謡など、幅広い年齢の方が楽しめる楽曲を演奏していただき、多くの方々に楽しんでもらえた。来場者からは「フルートのハーモニーが美しかった」「本格的な演奏会で大感激」「曲もトークもとてもよかった」「地元の公民館で無料で聴けるのは素晴らしい」「また機会を設けてほしい」など好評な結果が得られた。						
課題と展望	今後も幅広い年齢の方々が楽しめるコンサートを企画していきたい。						

事業名 テーマ	展示イベント		対象	庄和南公民館 来館者	定員	定めず
ねらい	公民館ロビーを様々な情報発信、イベントの場として活用する。					
協力機関 及び団体	なごみ会 ひよこの会・絵手紙きらら・新婦人絵手紙サークル		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11
会場	1階ロビー		教材 資料等			
実施までの経過	10月 11月	協力団体の選定・相談 事業計画書、展示協力依頼書作成・起案 各協力団体との打合せ 公民館だより掲載 ポスター掲示 作品搬入・展示準備 展示 作品搬出・有孔ボード撤収 ガラスケース内展示は 随時受け付けし実施	PR方法	公民館だより2月号 ポスター掲示 公民館ブログ、公式LINE		
	12月 2月 2/1～2/8 2/10～3/10 3/11～17		受付方法	ガラスケース内展示は随時受付		
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	
12月2日(火) ～1月27日(火)		《ガラスケース内展示》 なごみ会「陶芸作品展」 「早春 書道・絵手紙展」 ひよこの会・絵手紙きらら・ 新婦人絵手紙サークル	展示			 
2月10日(火) ～3月10日(火)						
2回	—			—	—	
企画運営上の工夫	早春にふさわしい展示となるように、書道と絵手紙のサークルに協力を依頼した。展示パネルの設置を正面玄関から入った時に段差が出て、全体を見渡せるように、また準備や撤収作業中は利用者が触れて有孔ボードが倒れないよう、モールやロビーのイスで周囲を囲むように配慮した。					
成果 参加者の声など	来館者に作品を鑑賞する機会を、また展示協力者には活動成果を発表する機会を提供することができた。アンケートでは「美しい作品で心を打たれた」「文字に温かみを感じた」との声をいただいた。					
課題と展望	前回までは年明けに実施したため、協力団体は年末の忙しい中を用意する必要があり、やや負担だった、とのこと。今回は早春ということで2月からの実施であったため、年明けからじっくりと準備ができたのでよかった、という声が強かった。今後は公民館側だけの都合ではなく、協力団体の都合も併せて検討し、負担軽減に努める必要がある。					

事業名 テーマ	公民館だより「しょうわ」発行		対 象	庄和地区内		定員	
ね ら い	公民館事業のPRや報告、地区内社会教育団体の活動PR及び地域情報を庄和地区内の住民に提供する。						
協力機関 及び団体	庄和地区内自治会		特 色 位置づけ	学習情報の提供		SDGs の目標No	4.11
会 場			教 材 資 料 等				
実施までの経過	2ヶ月前～ 1ヶ月前～ 前月下旬 隔月1日 (偶数月)		原稿調整 作成・編集 校正・印刷 発行	PR方法			
				受付方法	掲載を希望する団体は、公民館だより掲載依頼書を前月1日までに提出。		
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
隔月1日		発行(公民館事業の広報) 庄和地区内約13,500部配布					
							
6回							
企画運営上の工夫	事業名称などのタイトルを大きく掲載し、表記の仕方を統一して見やすいレイアウトとした。 また、イラストを作成している団体に声をかけてイラストを提供をしてもらった。						
成果 参加者の 声など	事業参加者へのアンケートから、公民館だよりを見て申し込みや来館される方が多く、 地域住民の情報収集の手段となっているよう。						
課題と展望	今後も視覚的にわかりやすく、興味を持ってもらえるような紙面作成を心がけていきたい。						

庄和地区 17 【防災・防犯の拠点に関する事業(地区センター事業)】

事業名 テーマ	庄和地区防災・防犯のつどい		対 象	庄和地区在住者		定 員	—
ね ら い	災害、防犯について自分や家族・地域を守ることができるように、日頃から備えておくことの重要性を学ぶ。						
協力機関 及び団体	春日部市危機管理防災課 庄和地区自治会連合会 春日部警察署		特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	13
会 場	大鳳文化交流センターハルカイト 庄和市民センター正風館		教 材 資 料 等				
実施までの経過	11月7日(金) 危機管理防災課との打合せ 12月20日(土) 前日準備 12月21日(日) 5区合同防災訓練 3月19日(木) 防犯対策セミナー 交通安全講話 避難所開設訓練		PR方法	HP掲載 来館者への声かけ			
			受付方法	庄和市民センター正風館へ直接または電話で申込み			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
12月21日(日)	10:00～11:15	5区合同防災訓練	実技	—	—	146	危機管理防災課職員
3月19日(木)	10:00～11:00	避難所開設訓練	実技	7	15	22	危機管理防災課職員
3月19日(木)	11:15～12:00	防犯対策セミナー	講義	8	13	21	春日部警察署職員
3月19日(木)		交通安全講話	講義				春日部警察署職員
4回	3時間			15	28	189	
企画運営上の工夫	災害時等で避難所になることから、有事の際の避難所の設置、受付、避難誘導、簡易ベッド・間仕切り等の組立を実際に体験することで、有事の際に速やかな対応が取れるようにする。 特に、12月21日(日)に開催した5区合同防災訓練では、市内初のペット同行での自主防災訓練を行った。						
成果 参加者の声など	防災2回、防犯2回の事業を実施した。参加者から満足の声を多く「簡易ベッドの組立を実際に行い学びが多かった」「防犯職員の説明が分かりやすかった」との意見を聞くことができた。						
課題と展望	PR方法、開催時期についてよりよい実施方法、自治会・他課との協力を考慮しながら、今後も実施していく。						